



2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年7月31日

上場会社名 株式会社ホットマン 上場取引所 東
コード番号 3190 URL <http://www.yg-hotman.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 伊藤 信幸
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役兼管理本部長 (氏名) 柳田 聡 TEL 022-243-5091
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の業績 (2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	5,056	1.6	231	61.3	252	53.1	165	59.3
2024年3月期第1四半期	4,974	0.0	143	17.1	165	14.9	104	212.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	23.48	—
2024年3月期第1四半期	14.74	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	16,111	7,211	44.8	1,022.11
2024年3月期	15,886	7,109	44.8	1,007.62

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 7,211百万円 2024年3月期 7,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期 (予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の業績予想 (2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	9,170	0.7	△173	—	△148	—	△130	—	△18.43
通期	21,100	0.5	300	4.3	368	3.7	210	2.5	29.76

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期1Q	7,275,500株	2024年3月期	7,275,500株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	220,000株	2024年3月期	220,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期1Q	7,055,500株	2024年3月期1Q	7,055,500株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期損益計算書に関する注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済環境は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかな回復基調が続いている一方、インフレの継続や円安進行による消費者物価上昇の影響は大きく、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社におきましても、人流の回復はみられるものの、仕入価格の高騰や人件費の上昇等コストの高止まりが続いており、また長引く物価高による消費者マインドの停滞も懸念され、厳しい状況が続いております。

そのような環境の中、会社方針に『一意専心(決めた目標のために、迷わず心を集中させる)』を掲げました。消費者の節約志向が高まる中、お客様一人ひとりにご満足いただき再来店していただくため、アフターコロナの今だからこそ対面接客に注力することで「集客力の向上」に努めて参りました。

2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレーゼ南相馬店」(グランドオープンは同年6月)を新規出店し、同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」(旧店舗名ダイソー原町店)を移転オープン致しました。また同年6月に茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレーゼ角田店」(グランドオープンは同年7月)を新規出店致しました。

当第1四半期会計期間末の店舗数は、イエローハットが90店舗、TSUTAYAが8店舗(前年同期比1店舗減)、アップガレージが8店舗、カーセブンが3店舗、ダイソーが6店舗、宝くじ売場が5店舗、コメダ珈琲店が1店舗、シャトレーゼが4店舗(前年同期比2店舗増)の合計125店舗(前年同期比1店舗増)となっております。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高は5,056百万円となり、前年同期比81百万円(前年同期比1.6%増)の増収となりました。経常利益につきましては252百万円となり、前年同期比87百万円(前年同期比53.1%増)の増益となりました。四半期純利益は165百万円となり、前年同期比61百万円(前年同期比59.3%増)の増益となりました。増収増益の要因は主として、イエローハット事業及びアップガレージ事業において、前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだことによるものとなっております。

セグメント別の業績は、次の通りであります。

[イエローハット]

当社の主たる事業であるイエローハット事業におきましては、2024年6月に茨城県高萩市に「イエローハット高萩インター店」(旧店舗名イエローハット高萩店)を新築移転オープン致しました。主に対面接客による「タイヤの拡販」及び「車検の拡大」に注力して参りました。前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだことにより、当第1四半期累計期間の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高3,940百万円(前年同期比4.1%増)、セグメント利益(営業利益)は324百万円(前年同期比42.4%増)となっております。

[TSUTAYA]

TSUTAYA事業におきましては、書籍、文具、コスメ等雑貨の商品展開を行い販売に注力したものの、1店舗退店の影響もあり、当第1四半期累計期間の売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高357百万円(前年同期比17.5%減)、セグメント損失(営業損失)は20百万円(前年同期は20百万円のセグメント損失(営業損失))となっております。

[アップガレージ]

アップガレージ事業におきましては、イエローハット事業同様、前事業年度の春商戦が2024年4月にずれ込んだこと及び継続的な粗利率の向上に注力したことにより、当第1四半期累計期間の売上高は好調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高263百万円(前年同期比8.3%増)、セグメント利益(営業利益)は21百万円(前年同期比60.0%増)となっております。

[その他]

その他の事業におきましては、2024年5月に福島県南相馬市に「シャトレーゼ南相馬店」(グランドオープンは同年6月)を新規出店し、同年6月同一店舗内に「ダイソー南相馬原町店」(旧店舗名ダイソー原町店)を移転オープン及び宮城県角田市に「シャトレーゼ角田店」(グランドオープンは7月)を新規出店致しました。

シャトレーゼ事業は、店舗数が増加したものの、既存店の売上高が低迷及び新規出店による費用の増加もあり、減収減益となっております。

ダイソー事業は、南相馬原町店の移転による休業期間や移転費用の増加もあり、減収減益となっております。

コメダ事業、保険事業及び不動産賃貸事業におきましては、売上高は好調に推移致しました。

カーセブン事業及び宝くじ事業におきましては、売上高は低調に推移致しました。

この結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高494百万円(前年同期比3.6%減)、セグメント利益(営業利益)は12百万円(前年同期比41.6%減)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は162百万円減少し、7,329百万円（前事業年度末7,491百万円）となっております。これは主に、現金及び預金が450百万円増加したものの、売掛金が152百万円、商品が246百万円及び未収入金（その他の流動資産）が222百万円減少したことによるものであります。

また、固定資産の残高は387百万円増加し、8,782百万円（前事業年度末8,394百万円）となっております。これは主に、新規・移転出店により建物が375百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計残高は16,111百万円（前事業年度末15,886百万円）となっております。

② 負債

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は26百万円減少し、6,099百万円（前事業年度末6,125百万円）となっております。これは主に、短期借入金が300百万円増加したものの、買掛金が335百万円減少したことによるものであります。

また、当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は149百万円増加し、2,800百万円（前事業年度末2,651百万円）となっております。これは主に、長期借入金が145百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計残高は8,900百万円（前事業年度末8,777百万円）となっております。

③ 純資産

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は102百万円増加し、7,211百万円（前事業年度末7,109百万円）となっております。これは主に、四半期純利益を165百万円計上並びに剰余金の配当を70百万円支払ったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年5月10日の「2024年3月期 決算短信」で公表致しました第2四半期及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	894,793	1,345,750
売掛金	690,920	538,712
商品	5,480,448	5,234,284
貯蔵品	2,272	2,476
その他	423,236	207,902
流動資産合計	7,491,671	7,329,125
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,552,660	2,928,511
土地	2,498,358	2,498,358
その他（純額）	1,067,834	1,163,398
有形固定資産合計	6,118,853	6,590,267
無形固定資産	20,219	19,461
投資その他の資産	2,255,541	2,172,677
固定資産合計	8,394,614	8,782,406
資産合計	15,886,285	16,111,532
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,034,034	698,203
短期借入金	3,250,000	3,550,000
1年内返済予定の長期借入金	366,654	441,654
未払法人税等	162,948	21,802
賞与引当金	93,333	16,666
契約負債	415,222	417,716
その他	803,424	953,047
流動負債合計	6,125,616	6,099,090
固定負債		
長期借入金	641,698	786,701
退職給付引当金	1,609,661	1,612,290
役員退職慰労引当金	166,108	167,207
資産除去債務	183,724	184,542
その他	50,222	50,222
固定負債合計	2,651,414	2,800,963
負債合計	8,777,031	8,900,054
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,645	1,910,645
資本剰余金	500,645	500,645
利益剰余金	4,725,551	4,820,643
自己株式	△108,380	△108,380
株主資本合計	7,028,461	7,123,553
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,791	87,924
評価・換算差額等合計	80,791	87,924
純資産合計	7,109,253	7,211,478
負債純資産合計	15,886,285	16,111,532

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	4,974,442	5,056,119
売上原価	2,627,360	2,589,286
売上総利益	2,347,081	2,466,832
販売費及び一般管理費	2,203,623	2,235,467
営業利益	143,458	231,364
営業外収益		
受取配当金	6,884	4,768
受取手数料	5,581	4,493
産業廃棄物収入	3,381	4,816
その他	14,125	13,103
営業外収益合計	29,972	27,182
営業外費用		
支払利息	5,148	4,796
その他	3,192	998
営業外費用合計	8,340	5,795
経常利益	165,090	252,752
特別利益		
固定資産売却益	49	—
特別利益合計	49	—
特別損失		
固定資産除却損	0	136
特別損失合計	0	136
税引前四半期純利益	165,140	252,615
法人税、住民税及び事業税	9,626	9,352
法人税等調整額	51,499	77,615
法人税等合計	61,125	86,968
四半期純利益	104,014	165,647

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書に関する注記)

※ 当社の主たる事業のイエローハット事業において、主力商品であるスタッドレスタイヤの販売時期が11月から12月に集中するため、通常第3四半期会計期間の売上高は、他の四半期会計期間の売上高と比べ著しく高くなっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）の償却額は、次の通りであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	86,081千円	93,596千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,784,383	433,861	243,636	4,461,881	512,561	4,974,442	—	4,974,442
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	4,579	368	74	5,022	9,947	14,970	△14,970	—
計	3,788,962	434,229	243,711	4,466,903	522,509	4,989,413	△14,970	4,974,442
セグメント利益 又は損失(△)	228,238	△20,152	13,473	221,559	21,472	243,031	△99,573	143,458

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△99,573千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 損益計算書 計上額 (注) 3
	イエロー ハット	TSUTAYA	アップ ガレージ	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	3,940,168	357,826	263,803	4,561,799	494,320	5,056,119	—	5,056,119
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5,029	376	453	5,859	6,191	12,051	△12,051	—
計	3,945,197	358,203	264,257	4,567,659	500,511	5,068,170	△12,051	5,056,119
セグメント利益 又は損失(△)	324,992	△20,683	21,560	325,868	12,544	338,412	△107,047	231,364

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ダイソー事業、コマダ事業、シャトレーゼ事業及び保険収入等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△107,047千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。